資料　2

信濃毎日新聞　号外

発行所
信濃毎日新聞社
長野本社　〒380-8546
長野市南県町657番地
電話(026)
受付236-3000　編集236-3111
販売236-3310　広告236-3333
松本本社　〒399-8711
松本市宮田2番10号
電話(0263)　編集25-2151
販売・広告・事業25-2153
©信濃毎日新聞社2010年

購読申し込み
フリーダイヤル
0120・81・4341
信毎ホームページ
http://www.shinmai.co.jp

佐久市文化会館「建設中止」

住民投票「反対」7割超す

総合文化会館建設の賛否を問う佐久市の住民投票は14日、投開票された。投票率は54・87％で、条例で定めた50％以上の成立要件を満たし、開票の結果、反対3万1051票、賛成1万2638票で、反対が有効票の71％余を占めた。柳田清二市長は開票終了後に記者会見し、「結果を尊重して建設は中止したい」と表明した。15日午前に開く市議会の全員協議会にも建設中止の方針を伝える。

同会館は三浦大助前市長時代、市と市議会が一致して建設を推進。市政転換後の住民投票で、建設反対が賛成を大きく上回った結果は、市議会と市民の意向のずれを浮かび上がらせた。

柳田市長は会見で「（結果の）数字で方向性は明確に表れた。文化会館を建設せずに文化振興を進めていく」と説明。住民投票について「多くの市民が進んで参加し、投票所に向かったことに意義がある。今回の方法が受け入れられた」と評価した。

住民投票は、昨年4月の市長選で同会館建設に「慎重な検討」を公約して初当選した柳田市長が今年1月、「将来にわたり市民に負担を担っていただく問題。市民の合意が大事だ」として、実施の意向を表明した。条例案を8月の市議会臨時会に提出。議会側が投票率が50％未満では成立しない要件を設ける修正を加え、9月に可決した。

市町村合併以外の政策を問う住民投票は県内で初めて。投票資格者は永住外国人を除く20歳以上の佐久市民。市が財政状況を踏まえて実施設計を見直した費用圧縮案（建設費55億400万円）について、賛成と反対を選択した。賛成者は参考情報として、費用圧縮案か従来通り案（同63億7700万円）かを選ぶこともできた。

参考情報の結果は、費用圧縮案4327票、従来通り案5363票などだった。

14日の投票資格者数は8万15人（男3万8875人、女4万1140人）。

佐久市住民投票結果

市総合文化会館建設に

反対	31,051票	（71.07％）
賛成	12,638票	（28.93％）

カッコ内は有効投票に占める割合

無効　215票

投票率　54.87％　成立
（男54.63％、女55.10％）

投票資格者数　80,015人（男38,875人、女41,140人）

参考　建設賛成者のみ選択

費用圧縮案	4,327票
従来通り案	5,363票

（判別できないものなど除く）

住民投票の結果を受け、佐久市総合文化会館の建設中止を表明する柳田市長＝14日午後11時6分、同市の野沢中

詳細は本紙で

佐久市総合文化会館の概要　1986（昭和61）年、文化団体などの要望を受けて市が建設に向けた検討を始め、団体や個人からの寄付で建設基金を設置。三浦大助市長当時の2005年の合併を機に、ＪＲ佐久平駅近くでの用地取得や、設計などを進めた。事業費の財源には合併特例債を使う。延べ約7800平方㍍で、客席1476席。試算によると、年間の運営経費は1億5900万～2億2500万円。